

- 発電所ニュース ●皆さまのご質問におこたえします ●発電所の一員として ●エネルギーのはなし ●新規制基準への適合性審査の状況
- 刈羽ふれあいサロン「き・な・せ」からのお知らせ ●皆さまからの声 ●イベントインフォメーション ●発電所DATA



サービスホール 6月の催し

土・日開催
[参加費無料]

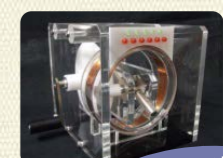
工作教室 9:00~16:30
(12:00~13:00はお昼休みとさせていただきます)



エネルギー教室

①10:30~11:00
②14:00~14:30

1日の電気の使われ方や、普段使っている電気がどのように作られているか実験を通じて楽しく学びます。



手回し発電機を使います

※状況により、時間の変更や中止となる場合があります。

発電所構内ガイドツアー **要予約** 構内を車でぐるっとひとまわり!

1便 10:30~ **2便** 11:30~ **3便** 13:30~ **4便** 14:30~ (各回40分)

当日は開催時間の30分前までに受付で手続きをお済ませください。ご本人様確認のため運転免許証または住民基本台帳カード(顔写真付)が必要となります。当日、コピーを取らせていただきます。

お申し込み・お問い合わせ **発電所サービスホール**
〒945-0307 刈羽村大字刈羽4236-1 TEL.0120-344-053(9:00~17:00)

発電所DATA (2016年5月1日現在)

▶▶▶ 柏崎刈羽原子力発電所で現在働く人は6,510人です。

【東京電力】 (人)			【協力企業*】 (人)		
県内	柏崎市	876	県内	柏崎市	2,388
	刈羽村	85		刈羽村	220
	その他	125		その他	1,228
県外	87		県外	1,501	
〈合計〉			1,173		
			〈合計〉		
			5,337		

※登録人数を計上 (5月10日時点の入構者数は4,746人)

▶▶▶ プラントの状況

1号機	2号機	3号機	4号機
停止中	停止中*	停止中*	停止中*
5号機	6号機	7号機	
停止中	停止中	停止中	

※新潟県中越沖地震(2007.7.16)以降停止中

後記
発電所ニュースにもありますが、当社は定例の人事異動の時期を迎えています。人と人の縁を表現する「一期一会」。この言葉は茶道に由来し、「二度と巡っては来ないたった一度きりの茶会。主客ともに誠意を尽くしましょう」といった茶会の心得だそうです。異動に伴う「懇親会」は、「ほどほどに(-.-)」と心得ます。

●今月号の表紙 / 原種は日本に自生するガクアジサイ。欧米でも多くの品種が作られ、花は梅雨の頃が一番の見頃で雨のイメージが重なる。完全に枯れるまでの様々な変化を楽しめるのもアジサイの特徴である。[品種名:フェアリーキッス]

[NEWSアトム URL] <http://www.tepco.co.jp/kk-np/pr/newsatom/index-j.html>
2016年6月12日(H28-R-03)
●編集発行責任者: 東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46 ☎0120-120-448(平日 9~17時)

料金受取人私郵便 郵便はがき

945-8601

柏崎局 承認 68

柏崎市青山町16番地 46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行

ふりがな _____

お名前 _____ 年齢 歳 男・女 _____

ご住所 〒 _____

お電話番号 _____

ご記入いただきました個人情報については、ご質問等への回答、紙面づくりの参考以外には使用いたしません。



PAZ、UPZって何のこと?



原子力災害時の対策重点区域の範囲です。

原子力災害時において、発電所の事故の進展に応じ、放射性物質または放射線の異常な放出を想定し、放射線被ばくや周辺環境への影響を低減する防護措置を短期間で効率よく行うために、あらかじめ重点的に対策を行う地域が定められています。

イメージ図

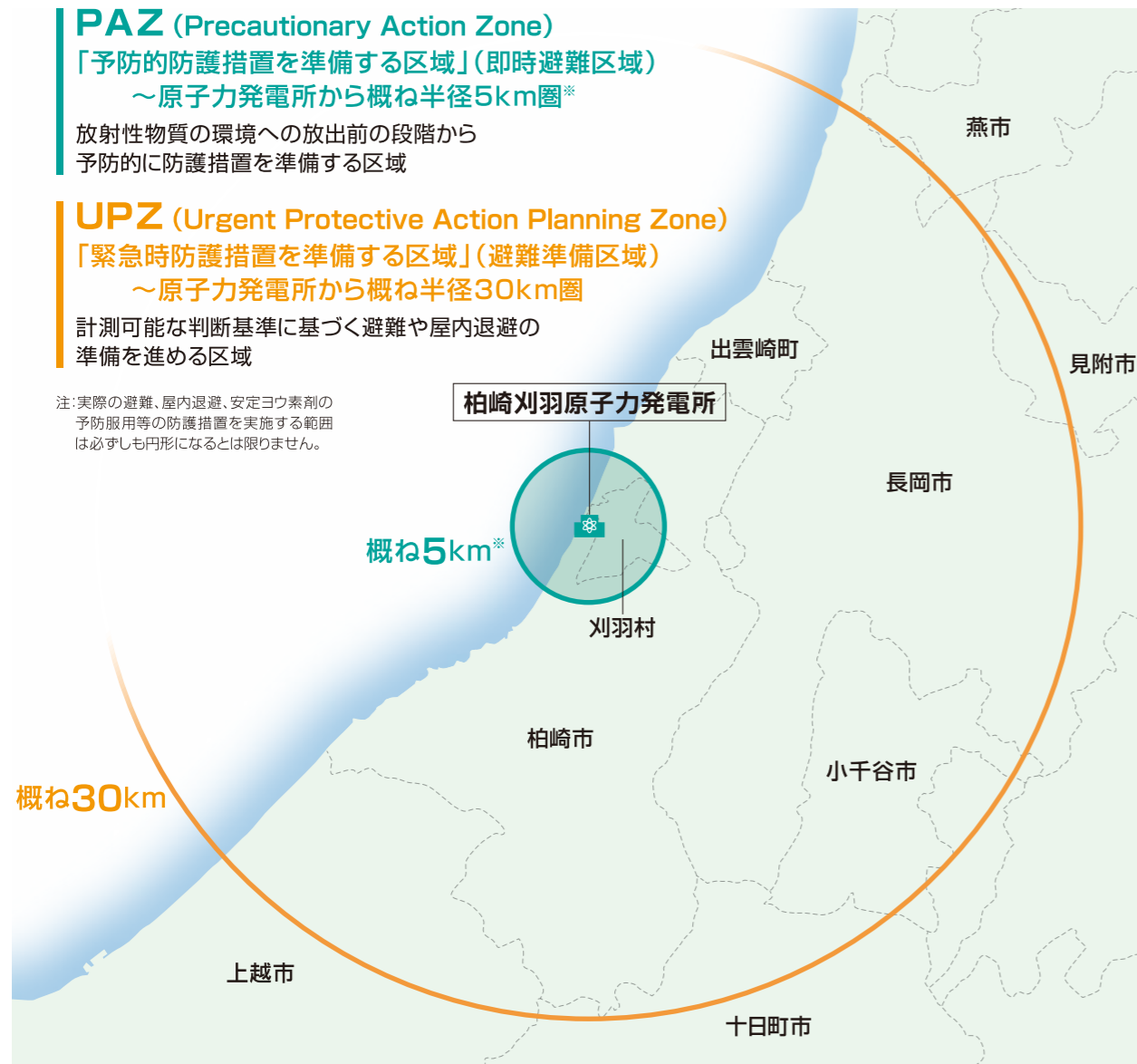
PAZ (Precautionary Action Zone)
「予防的防護措置を準備する区域」(即時避難区域)
～原子力発電所から概ね半径5km圏*

放射性物質の環境への放出前の段階から
予防的に防護措置を準備する区域

UPZ (Urgent Protective Action Planning Zone)
「緊急時防護措置を準備する区域」(避難準備区域)
～原子力発電所から概ね半径30km圏

計測可能な判断基準に基づく避難や屋内退避の
準備を進める区域

注:実際の避難、屋内退避、安定ヨウ素剤の
予防服用等の防護措置を実施する範囲
は必ずしも円形になるとは限りません。



*柏崎市の7地区(高浜地区・荒浜地区・松波地区・
南部地区・二田地区・中通地区・西中通地区)
および刈羽村の全域

出典:原子力災害対策指針(原子力規制委員会)
柏崎市防災ガイドブック(原子力災害対策編)
刈羽村防災ガイドブック ほか

退任のご挨拶



柏崎刈羽原子力発電所長
横村 忠幸
よこむら ただゆき

このたび、6月29日で発電所長を退任することとなりました。2010年6月に就任してからの6年間、所長を務めさせていただきました。

福島第一原子力発電所の事故から5年以上が経過しましたが、いまだ大変多くの方々にご迷惑とご心配をおかけし続けている状況について、改めてお詫び申し上げます。

当発電所は現在、停止中ですが、設備の監視・点検やさまざまな訓練を通じて安全確保に努めるとともに、「理由の

如何を問わず、あのような事故は2度と起こさない」という強い決意で、事故の教訓をふまえた発電所の安全性向上に全力で取り組んでまいりました。

地元の皆さまをはじめ、関係者の皆さまから様々なご意見をいただいたこと、協力企業の方々のお力添えをいただけたこと、大変感謝しております。

柏崎刈羽原子力発電所は、引き続き、地震、津波や重大事故等に対する安全性向上に取り組みとともに、緊急時にも対応できる組織や人づくりに邁進し、災害に強い発電所になるように全力を尽くしてまいります。

後任の設楽親(福島第二原子力発電所長)にも、変わらぬご指導ご鞭撻を承りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



1号機営業運転再開(定期検査終了証の受領) / 2010年8月4日



国際原子力機関による運転安全評価レビューの会合 / 2015年6月30日



安全決起大会 / 2015年10月27日



柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会 / 2016年2月5日



[工事前]



[工事後]

山崎 まずは可燃物の除去という
ことで、多種多様な樹木の伐採か
ら始めました。成長した木は根っ
こが深く伸びており、また地下に
は既存の水路や地下ケーブルが埋
設されている箇所もありました。
重機の先端にアタッチメントをつ
けて根っこを粉々にするなど、埋
設物を損傷しないよう工夫しなが
ら工事を進めました。

石川 この発電所はこれまで「花
と緑の発電所」と言われ、いろい

ろな木が植えてありました。防火
帯設置のための伐採には、辛い気
持ちもありました。

山崎 伐採した木はチップ材に加
工し、再利用を図りました。伐採
した後は表面をならしてセメント
を吹き付け、可燃物のないエリア
を作っていました。最盛期は11
カ所に分かれて80人体制で施工し
ました。暖冬で雪の心配は少なかっ
たのですが、夏の暑さは大敵でした。

**炎天下の工事は熱中症との戦い、
事故ゼロへの取り組み**

石川 道路脇には温度計を設置し
たり、熱中症危険度などの注意喚
起の表示を行っています。あま
りの暑さに作業中止になった日も
ありました。セメントの吹き付け
作業は、急な斜面の上からロープ
を伝って行うため、照り返しもき
ついです。

山崎 熱中症対策で重要なのは塩
分、水分、休憩。朝礼で全員の顔
色や体調などを見極め、人員を
臨機応変に配置することで作業員
の安全を確保し、無事故を達成し
ました。

**想定を大きく超えた津波。
安全意識に大きな変化**

山崎 発電所では今、6,000人
を超える作業員が働いています。
作業ルールを遵守し、事故のない
日を積み重ねて無事故で安全対策
を行うことが私たちの総意。今回
の防火帯設置もそうですが、東日
本大震災後は、「安全の先取り」
が非常に重要だという思いをさら
に強く持つようになりました。

石川 夏場の工事に関し
ては、とにかく無理をし
ないよう、常に早めの休
憩を呼びかけました。

山崎 防火帯は斜面だけ
ではなく、道路脇に石を
敷設する形の防火帯も施
工しました。多くの車が
行き交う交差点付近には、
白玉石を敷き詰めた防火
帯も設けました。

石川 周辺の環境に配
慮し、またデザイン性を考慮し
た防火帯になりました。これら
の工事により、安全上重要な設
備は可燃物のないエリアで囲まれ
ることになりました。



中央交差点付近に敷設された石の防火帯。
白玉石が風景のアクセントになっている。

森林火災からの延焼を防ぐ、全長約4キロの防火帯。

福島第一原子力発電
所の事故を踏まえて、
国が定めた「新規制
基準」。この基準では、
「安全上重要な機能が
自然現象等の共通の要因
で喪失しないようにする
こと」が求められています。
柏崎刈羽原子力発電所
では今、この新基準に基づ
き様々な安全対策工事を
行っています。そのひとつ
が、森林火災からプラント
設備を守る「防火帯」。

「昨年の11月から始まり、
今年3月に完成した長大
な防火帯。工事に関わった
2人の技術者が、安全への
思いを語ります。」
(2016年5月取材)

**全長約4キロ、幅20メートルに
わたるエリアを施工**

石川 「新規制基準」に基づき、
森林火災から重要な設備を守る防
火帯の設置を行うことになりまし
た。幅約20メートル、全長約4キ
ロにわたる広範囲な工事を、植木
組さんと共に行いました。

株式会社 植木組
柏崎支店 土木課副参事 現場代理人
やまざき かずひさ
山崎 一久 (左)

東京電力ホールディングス(株)
柏崎刈羽原子力発電所
副所長(土木建築担当)
いしかわ ひろゆき
石川 博之 (右)



日本海を望む高台に立つ2人。
森林火災から発電所を守る防火帯設置工事は、
こうした起伏のある箇所でも行われた。



刈羽ふれあいサロン「き・な・せ」からのお知らせ

のうりょう 農涼まつりを開催します

日時 7月30日(土) 8:00~12:00 場所 刈羽ふれあいサロン き・な・せ

新鮮な夏野菜や果物の大直売会

旬野菜の直売会のほかに、試食コーナー(無料)や、親子で楽しめるイベント等をご用意しています。



工作教室&発電所見学会

バスによる発電所構内見学会とあわせて、お子様には工作教室(小学生向け)に参加いただけます。

参加費無料

- 時間/9:00~11:30 ●募集人数/親子15組
- 応募方法/添付のはがきでご応募いただくか、「き・な・せ」までお電話ください。申込多数の場合は抽選を行い、結果は7月8日(金)頃までに封書にてご連絡します。
- 必要事項/氏名・住所・電話番号等 ●応募締切/7月2日(土)



お申し込み・お問い合わせ

刈羽ふれあいサロン「き・な・せ」
刈羽村大字割町新田741 TEL.0257-31-8900(日曜日を除く 9:00~17:00)

皆さまの声をお聞かせください

(該当する項目を丸で囲んでください)

- 1 今月号で興味を持った内容をお聞かせください。(複数回答可)
 - ①発電所ニュース「退任のご挨拶」
 - ②皆さまのご質問におこたえします「PAZ、UPZって何のこと?」
 - ③発電所の一員として
 - ④エネルギーのはなし
 - ⑤6・7号機の新規制基準への適合性審査の状況
 - ⑥刈羽ふれあいサロン「き・な・せ」からのお知らせ
 - ⑦皆さまからの声
 - ⑧イベントインフォメーション「サービスホール6月の催し」
 - ⑨発電所DATA
- 2 1で選んだ理由をお聞かせください。
- 3 原子力発電についてのご意見をお聞かせください。
 - ①必要 ②まあ必要 ③どちらともいえない ④あまり必要でない ⑤全く必要でない
- 4 今後掲載してほしい内容があればお聞かせください。
- 5 ニュースアトムおよび発電所に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

皆さまからの声

皆さまからお寄せいただいた声の中から一部をご紹介します。

中越地震・中越沖地震・熊本地震、いずれの地震も人間は予測できませんでした。自然の力を前に、人はもっと真摯にならなければいけないはずです。

東京電力のCMをめぐって色々な議論がありますが、社員の皆様が士気を落とすことなく日々頑張っておられることを身近に感じています。

想定外の自然災害、テロによる攻撃にどう対処するの? 高齢者は県外に避難できないと思います。

ニュースアトムの表紙は、季節感があってとてもキレイ。

農涼まつり(工作教室&発電所見学会)へ参加ご希望の方

参加人数 人(大人 人:小学生以下 人)

※小学生未満のお子様は、保護者の方と一緒に工作をしていただきます。
※裏面のお名前、ご住所、お電話番号を必ずご記入ください。

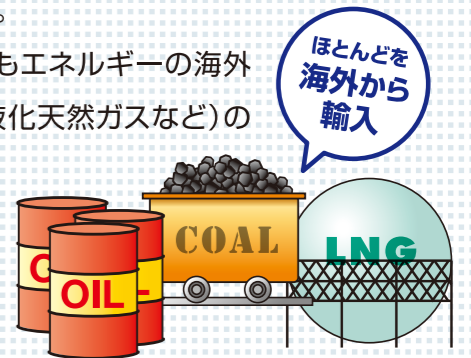
エネルギーのはなし Vol.1

日本はエネルギー資源の多くを輸入に頼っています

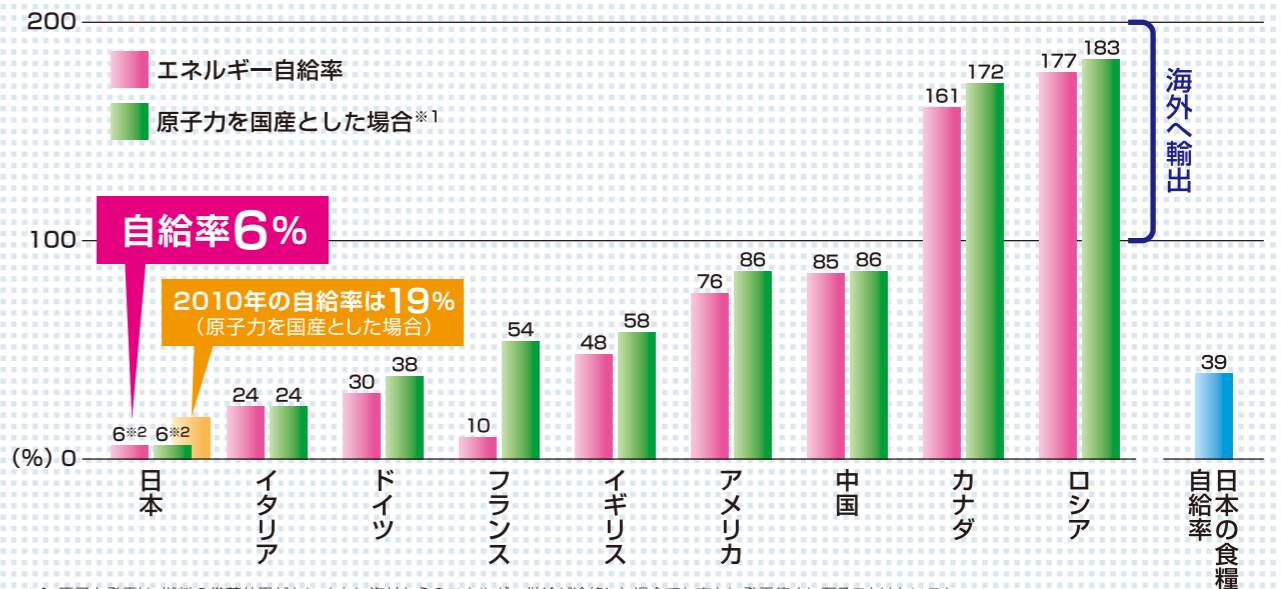
日本では、食糧自給率の低さ(約40%)が問題にされることがありますが、私たちの生活に欠かせないエネルギーの自給率は、さらに少ない約6%です。

日本は世界有数のエネルギー消費大国ですが、先進国の中でもエネルギーの海外依存度が特に高く、発電に必要なエネルギー資源(石油、石炭、液化天然ガスなど)のほとんどを、海外からの輸入に頼っています。

資源小国である日本にとって、エネルギーを安定的かつ経済的に確保していくことは、国の基盤に関わる重要な課題です。



●主要国のエネルギー自給率(2013年)



*1: 原子力発電は、燃料の備蓄効果があり、かりに海外からのエネルギー供給が途絶した場合でも直ちに発電停止に至ることはないこと、また、再処理してリサイクルすることが可能なため準国産エネルギーとして扱われます。
*2: 2013年は、原子力の寄与が小さく四捨五入の関係で同じ6%となっている。
出典: IEA「ENERGY BALANCES OF OECD COUNTRIES (2015 Edition)」/「ENERGY BALANCES OF NON-OECD COUNTRIES (2015 Edition)」

6・7号機の新規制基準への適合性審査の状況(5月26日現在)

現在、新規制基準への適合性について、原子力規制委員会の審査を受けています。至近の状況としては、5月26日に「建屋および原子炉の地震応答解析モデルの高度化の目的」について、審査会合が開催されました。

■プラントの審査状況(審査会合:77回、現地調査:1回)

主要な審査項目	審査状況
設計基準対象施設	
外部火災(影響評価・対策)	実施中
火山(対策)	実施中
竜巻(影響評価・対策)	実施中
内部溢水対策	実施中
火災防護対策	実施中
確率論的リスク評価	実施中
重大事故等対処施設	
有効性評価	実施中
解析コード	実施中
制御室(緊急時対策所含)	実施中
フィルタベント	実施中

■地震・津波などの審査状況(審査会合:29回、現地調査:3回)

主要な審査項目	審査状況
地質・地盤	
敷地周辺の断層の活動性	実施中
敷地内の断層の活動性	実施中
地震動	
地盤・斜面の安定性	実施中
地震動	実施中
津波	
津波	実施中
火山	
対象火山の抽出	実施中

審査会合の実施状況・審査会合資料は発電所ホームページに順次掲載しています。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/shinsakaigou-j.html>

柏崎刈羽原子力発電所>公表資料・データ>新規制基準適合性に係る審査会合実施状況